

福島県いわき市平にある、いわき芸術文化交流館アリオス大ホールで四日、「第五十五回住友商事ヤング・シンフォニー東日本大震災復興支援チャリティーコンサート」が開かれました。

「指揮をされていて大汗をかいたので着替えるわけではないんですが……」。そう言いながら、アンコール演奏の前に、指揮者の斎藤真知亜氏が突然ステージ上でタキシードからTシャツに着替え、福島県立磐城農業高校の三年生四人をステージに招き上げました。

磐城農業高校では、N

いわきおてんとSUN  
企業組合理事長  
吉田恵美子さん



# 東北復興日記

67

## 高校生とオケがコラボ

PO法人ザ・ピープルが、また、市内の小学校震災後の農業再生のため八校、中学校二校で始まった進んでいる「ふくし」ったコットン栽培に、農まオーガニックコットン業を専門とする先生を派プロジェクト」に協力し遣し、児童・生徒に栽培て、昨年から校内でコットン手順の指導を行っています。磐城農業高校のこうトン栽培を行っています。また、市内の小学校した動きを後押ししようとするプロジェクトに住友商事が実施している「ユースチャレンジプログラム」から助成を頂いたのが縁となって、今回のことが実現しました。



昨年プロジェクトで収穫されたオーガニックコットンで作られたTシャツに、彼女たちがこのコンサートのためのオリジナルデザインを考え、コラボTシャツが生まれました。カジキマグロが指揮し、魚たちが楽器を奏する絵柄は、いわきの海

の再生をイメージして描かれたものです。デザイン画を手に、彼女たちはこのデザインに込めた思いや、震災の影響により校舎が壊れプレハブでの授業が続く学校の現状、それでも復旧に向けて元気に頑張っていることなどを口々に語りました。写真。

アンコールはオーケストラ全員がコラボTシャツに着替えて登場。大きな拍手がわきました。

この連載は、東京のNPO法人「女子教育奨励会」と、被災地の女性たちが協力して復興に取り組む「結核プロジェクト」の協力を得て、掲載しています。